

県議会ふくしま

第34号

平成20年
6月定例会

6月定例会

20議案、7意見書を可決

12議員が代表、一般質問

福島県議会の2008(平成20)年6月定例会は6月24日から7月9日まで16日間わたって開かれた。6月26日の両日は代表質問が行われ、自民党の佐藤健一(郡山市)、県民連合の加藤雅彦(福島市)の両議員が登壇した。7月1、2の両日は一般質問が行われ、柳澤純子(自民党、郡山市)、本田朋(県民連合、二本松市)、佐藤正正(自民党、伊達市)、石原信市郎(県民連合、福島市)、太田光秋(自民党、原町市)、吉田公男(自民党、双葉郡)、佐藤健一(県民連合、いわき市)、若野源太郎(公明党、福島市)、満山喜一(自民党、白河市)、神山悦子(県民連合、郡山市)の10議員が質問。原油価格高騰対策や防災対策など県政が直面する重要課題について質問を行った。最終日は、県議会のあつらひを明らかにする議員提出の「福島県議会基本条例」をはじめ、「ふるさと納税」にかかる県税条例の一部改正など20議案、「原油・原材料価格高騰に関する意見書」など7意見書を可決、承認、同意し閉会した。なお、定例会終了後、日本航空からの福島空港の路線休止の申し出や漁船の一時休漁など、原油価格高騰の影響が拡大したことから、さらにも県議会として、国に対し原油・原材料価格高騰の支援を求める要請活動を実施した。

原油価格高騰への対応は

県制度資金活用し支援



原油価格の高騰は、県民生活や県内経済に影響を与えている。急激な原油価格の高騰は、度々資金によるきめ細やかな支援や、県営公共工事の単品スライド条項適用など新たな対応に取組むことにも、関係団体など連携した相談体制の強化や脱石油・省エネルギー化にも努めると答えた。

佐藤健一知事は、状況を的確に把握しながら各種対策を進める考えを示した。

県は、原油価格高騰の「ふくしま産業支援基金」により、中小企業の経営力や技術力、さらには人材力などの経営基盤の強化を積極的に支援する考えを示した。

また、本年度創設する「ふくしま産業支援基金」により、中小企業の経営力や技術力、さらには人材力などの経営基盤の強化を積極的に支援する考えを示した。

本県の防災対策は

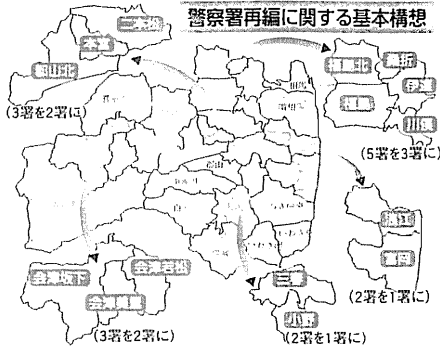
市町村の取り組み支援

中国四川大地震や岩手・村をはじめ消防、警察などの連携、協力が不可欠な。宮内内閣府の発生を、どの防災関係機関や企業、自治体などと連携し、的確に支援する考えを示した。

県は、公立小中学校の耐震化やひとり暮らしの高齢者など災害時要援護者の避難対策などで市町村の取り組みを積極的に支援、協力する考えを示した。防災対策には市町村

関係機関との連携確認や県民意識の高揚を図る防災訓練

警察署再編の基本構想は 事件事故への対応力を強化



警察署再編の基本構想は、事件事故への対応力を強化。久保田二県警本部長は、再編により一定の規模を確保することで機動性の強化、事件事故への対応力の強化、事件事故への対応力の強化を図る。今後の、広域や県議会、自治体、地域住民の理解を踏まえて、2010(平成22)年4月の再編実施を目指す方針を示した。

再編後の分庁舎の体制については、24時間体制で勤務する地域係、事件事故の捜査、犯罪防止などに当たる捜査係や生活安全係、交通安全課などを行う交通課と警察署との機能を残し、住民の不安解消、利便性と安全安心の確保に万全を期す考えを示した。

コメ農家への経営支援は 飼料用米へ転換推進

9月定例会に予算措置。中心の生産意向が強いこととなるから飼料用米への転換に十分な理解と協力が得られない現状を説明。田植えされた稲を飼料として活用する飼料用米への転換を推進するとともに、新規拡大面積すべてを県単独事業の支援対象とする予算措置を9月議会に提案する考えを示した。

県は、合わせて県産米の地産地消、コメの消費拡大に努めるとして、付加価値の高いコメや有機栽培米のマーケティング活動の支援、県内小中学校での新たな米給食メニューの開発などに取組む考えを示した。

可決された主な議案

- 条例関係議案
 - 福島県税条例の一部を改正する条例
 - 天鏡閣条例の一部を改正する条例
 - 福島空港条例の一部を改正する条例
 - 福島県児童相談所条例の一部を改正する条例
- 議員提出条例
 - 福島県議会基本条例

可決された意見書

- 携帯電話リサイクルの推進を求める意見書
- 日本映画への字幕付与を求める意見書
- 子宮頸がん予防ワクチンに関する意見書
- 地球温暖化防止に向けた国民的運動の推進を求める意見書
- 原油・原材料価格高騰に関する意見書
- 地域医療体制の確保を求める意見書
- 国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める意見書

「福島県議会基本条例」を制定

福島県議会は、6月定例会において、県議会のありかたを定める「福島県議会基本条例」を制定した。この条例は、「目的及び基本理念」「議員の職責」「議員の活動」「議員の報酬」など、県議会のありかたを定める。また、議員の活動の原則として、議員の職責の履行、議員の活動の促進、議員の報酬の適正化を図る。この条例は、6月26日の両日、代表質問が行われ、自民党の佐藤健一(郡山市)、県民連合の加藤雅彦(福島市)の両議員が登壇した。7月1、2の両日は一般質問が行われ、柳澤純子(自民党、郡山市)、本田朋(県民連合、二本松市)、佐藤正正(自民党、伊達市)、石原信市郎(県民連合、福島市)、太田光秋(自民党、原町市)、吉田公男(自民党、双葉郡)、佐藤健一(県民連合、いわき市)、若野源太郎(公明党、福島市)、満山喜一(自民党、白河市)、神山悦子(県民連合、郡山市)の10議員が質問。原油価格高騰対策や防災対策など県政が直面する重要課題について質問を行った。最終日は、県議会のあつらひを明らかにする議員提出の「福島県議会基本条例」をはじめ、「ふるさと納税」にかかる県税条例の一部改正など20議案、「原油・原材料価格高騰に関する意見書」など7意見書を可決、承認、同意し閉会した。なお、定例会終了後、日本航空からの福島空港の路線休止の申し出や漁船の一時休漁など、原油価格高騰の影響が拡大したことから、さらにも県議会として、国に対し原油・原材料価格高騰の支援を求める要請活動を実施した。

委員会ニュース 6 常任委員会

総務委員会



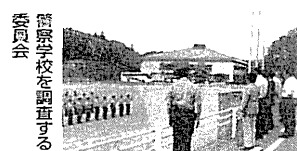
委員会(渡辺敬夫委員長)は、県税条例の改正などについて活発な質疑を行いました。特に、「福島県議会基本条例」については、本県議会開設130年という節目の年に、真の地方自治を目指し、先人の高い志を受け継ぎ、新たな時代の礎とするため制定するとの考えから、その審査を、本県議会の発祥の地とも言える福島市の「西遊寺」で行いました。

企画環境委員会



委員会(平出孝朗委員長)は、アクアマリンふくしまに設置予定の子ども体験館(仮称)の入札が不調に終わったことの原因や、開館時期への影響及び今後の対応、(株)クリーンテックの産廃処分場第二期工事の不許可を求める請願などについて活発な質疑を行いました。また、7月3日にはアクアマリンふくしまの現地調査を行いました。

福祉公安委員会



委員会(清水敏男委員長)は、福島県温泉法施行条例の一部を改正する条例や、岩手・宮城内陸地震の被災地におけるドクターヘリの稼働状況、県立病院運営をめぐる問題、秋葉5通り廃止を受けてのダガーナイフの規制状況などについて活発な質疑を行いました。また、7月4日には警察学校での現地調査を行いました。

商労文教委員会



委員会(道藤保二委員長)は、ふくしま産業支援ファンド、派遣労働者の雇用問題などについて活発な質疑を行いました。特に、大沼高等学校で起きたプール飛び込み事故については、原因の究明及び対策に全力を挙げ、県民の安全と安心が確保されるべきとの意見が出されました。また、7月3日にはハイテクプラザの現地調査を行いました。

農林水産委員会



委員会(太田光秋委員長)は、原油価格高騰が農林水産業に与える影響やその支援策、稲穂ホルクロップサイレーズや飼料用米への転換などの米の生産調整に対する取り組み、農地への鳥獣被害対策などについて活発な質疑を行いました。また、7月4日には、(株)まほろばフーズにおいて伊達町の生産、加工及び販売などの現地調査を行いました。

土木委員会



委員会(斎藤勝利委員長)は、県営住宅家賃滞納者に対する訴えの提起や、公共工事への単品スライド制度の適用などについて活発な質疑を行うとともに、今川川流域の治水対策については万全を期して臨んでほしい旨を要望しました。また、7月4日には、小名浜港でガントリークレーンなどの現地調査を行いました。

議員の異動

3月31日付けで橋本克也議員(自民党・須賀川市)が辞職しました。4月22日付けで次のとおり異動がありました。

▼勅使河原正之議員(自民党・郡山市)、企画環境委員から農林水産委員へ所属変更。▼佐藤憲保議員(自民党・郡山市)、議会運営委員を辞任、いのち・人権問題対策特別委員に選任。▼吉田公男議員(県民連合・郡山市)、いのち・人権問題対策特別委員を辞任、議会運営委員に選任。

福島県議会のはじまり

福島県議会は、明治11年6月に全国に先駆け「民会規則」に基づき県会を開会して、今年130年を迎えました。

全国に先駆け県会を開設 今年130周年

県会の開設は、中條政恒や河野広中をはじめ、当時の権令(県知事)山吉盛典らの努力と英断によるものでした。

なお、全国の府県会の本県議会より1年後の明治12年に、帝國議会は12年後の明治23年にそれぞれ開設されています。今後も、本県議会はこれら先人の誇り高い志を受け継いでまいります。

9月定例会
開会のお知らせ
平成20年9月定例会は9月25日(木)に開会予定です。